

沿岸広域振興局長殿

提出者 株式会社ガルバート・ジャパン

住所 〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町23-15

氏名 代表取締役社長 竹内 淳

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社ガルバート・ジャパン	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県釜石市鈴子町23-15	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,813 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	3 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第80条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年経済産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別紙（別添）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E+B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	材料製造二酸化 炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E	D				
	数量 A	単位	数量 C	単位						
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	5.92	kL	216		kL	216	15	15	0	
軽油	9.05	kL	344		kL	344	24	21	3	
A重油		kL			kL					
B+C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)				t					
	石油蒸気化水素ガス				千m ³					
	液化天然ガス(LNG)				t					
可燃性天然ガス	その他可燃性天然ガス				千m ³					
	原料炭				t					
石炭	輸入原料炭				t					
	原料炭				コークス用原料炭					
	吹込用原料炭				t					
	一般炭				輸入一般炭					
	輸入無煙炭				t					
石炭コークス				t						
コールタール				t						
コークス炉ガス				千m ³						
高炉ガス				千m ³						
発電用高炉ガス				千m ³						
転炉ガス				千m ³						
その他の燃料	都市ガス	965.21	千m ³	43,436	千m ³	43,436	2,017	1,995	22	
	()		千REPI		千REPI					
()			千REPI		千REPI					
異液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①						43,996	2,056	2,031	25	
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
温水熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①		千kWh			千kWh					
電気事業者②(重複数値約している場合使用)	3,041.40	千kWh	26,278		千kWh	26,278	2,473	2,190	262	
自己発電(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電	太陽光				千kWh					
	水力				千kWh					
	風力				千kWh					
	その他				千kWh					
小計③						26,278	2,473	2,190	262	
合計④=①+②+③						70,274	4,529	4,221	308	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,913	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	4,529 t-CO ₂
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO ₂
上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	4,529 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・2023年度と比較して生産量(8,503t/y→1,0193t/y)及び稼働日数(150d/y→170d/y)が増加したことにより、二酸化炭素の総排出量は4,221t-CO₂→4,529t-CO₂と約7.3%程増加した。
- ・生産量の増加割合(19.9%増)に対し、二酸化炭素の総排出量の増加割合は小さく、生産量当りの排出量としては減少した。(0.4964t-CO₂/t→0.4443t-CO₂/t)
- ・集中生産の実施による生産性向上(56.6t/d→59.8t/d(5.7%向上))の効果等もあり、生産量当りのCO₂排出量は10.5%減少した。
- ・引き続き省エネ案件の積上げを行い、継続的な改善への取り組みを進める。

【具体的な取組状況】

①電気

- ・計休の際に元電源断による待機電力の低減を継続実施した。
- ・操業休止時の設備電源断、ユータリテイ設備稼働の極力停止による節電を継続実施した。
- ・照明のこまめな消灯を継続実施した。(工場休止時及び不在時の消灯の徹底他)
- ・空調機使用時の設定温度管理及び定期的な点検、フィルター清掃を継続実施した。

②都市ガス

- ・焼鈍炉を通過させない生產品種を集中生産し、焼鈍炉を休止させて操業を実施することによりガス使用量の低減を図った。
(焼鈍炉休止での操業日数:2024年度は19日/年→約48千m³/年のガス使用量削減)
- ・亜鉛槽に新たな保熱カバーを設置した。
(約16千m³/年のガス使用量削減)
- ・集中生産による生産性向上を図ることにより、原単位改善を進めた。
(生産性:56.6t/d→59.8t/d, 約35千m³/年のガス使用量削減)

③灯油・軽油

- ・フォークリフト運転時、極力アイドルリング停止を継続実施した。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・ペットボトル及び段ボール、紙類の分別回収に取り組んだ。
またコピー時の裏紙使用により用紙使用量低減に取り組んだ。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項